



# 広域化に伴う事務の効率化と地区間の協力体制の強化

うえだ みどり  
 上田市多面的機能広域協定（通称：上田水土里会）（長野県上田市）

上田市では、平成26年度に市内において36組織でスタートしたが、各組織の指導監督や新規地区への普及や組織の設立支援など市役所の労力が多大となった。そのような中、活動組織間において、交付金の過不足による格差が見られるようになり、また、役員への負担が重いため、人材確保が難しい活動組織があるなどの諸問題の解決のため、平成28年から広域化を進め、平成30年度に新たな組織も加わり市内47組織のうち35組織が参加し広域組織を設立した。

- 【地区の概要】**
- ・ 取組面積：3,082ha  
 （田1,853ha、畑776ha、草地453ha）
  - ・ 資源量：開水路 790.3 km  
 農道 236.8 km
  - ・ 構成員：自治会、土地改良区等
  - ・ 交付金：約177百万円  
 農地維持支払  
 資源向上支払(共同活動、長寿命化)

## 活動開始前の状況や課題

○ほとんどが集落単位の活動組織で、各組織毎の交付金の活用状況に大きな差が見られ、組織毎の交付金の過不足が顕著に見られた。

また、組織数が多く、活動組織への指導・監督等市の労力が多大であり、担当者の負担が大きかった。

活動組織の事務負担を懸念して組織設立を躊躇する組織があった。



## 取組内容

○既存の組織に丁寧に広域化のメリット・デメリットを説明し、協定への参加・不参加については各組織の判断に任せた。

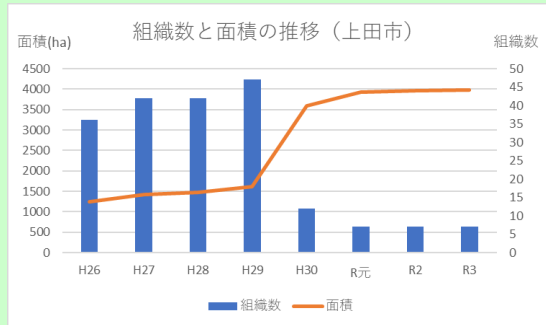
○広域化後も各組織へのフォローアップとして、事務局が各組織向けの休日相談会を実施したり、全組織へのヒアリングを実施するなど、事務局と活動組織の意思疎通の円滑化に努めている。



運営委員会

## 活動の効果と今後の展開

○上田市において広域化を実施した結果、取組面積が2.2倍に増加  
 1,613ha(H29)→3,598ha(H30)



○目字詰め講習会を実施し、技術の普及に努めている。また、地域の高齢化に備えて、各地区の芝刈り機などの機械リストや技術者リストを作成し、機械の共有化や埋もれた技術力の発掘・地区間の技術協力を推進している。

